

アウト・オブ・ブルー (1980)

OUT OF THE BLUE

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ

製作国 アメリカ

時間 94分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

ニール・ヤングの名曲“My My Hey hey(Out of Blue)”（エルビスの死とジョニー・ロットン“セックス・ピストルズ”の登場に触れ、R & Rの不滅を唄っている）にインスパイアされ、永遠の不良少年ホッパーが自らメガホンを取ったヘヴィな現代アメリカの青春断片。製作後15年の歳月を経ても、そんじょそらのX世代映画が逆立ちしても敵わないむき出しの映像表現に、殺伐とした想いを越えた狂熱的な気分をかき立てられることだろう。服役中の父と神経衰弱で男にもだらしのない母（S・ファレル）との間で怒りを募らせる娘をL・マンズが熱演。父を演ずるホッパーの“狂演技”は当然見もの。家出をし、少女は麻薬に手を染め、家庭の崩壊は加速度的に進行する。あまりに早く作られすぎた“現在”の映画だ。

【クレジット】

監督	デニス・ホッパー	Dennis Hopper
製作	レナード・ヤキール	
脚本	レナード・ヤキール ブレンダ・ニールソン ゲイリー・ジュールス・ジューヴナット	
撮影	マーク・チャンピオン	Marc Champion
音楽	トム・ラヴィン	Tom Lavin
出演	リンダ・マンズ	Linda Manz シンディ（シービー）
	レイモンド・バー	Raymond Burr ドクター・ブリー
	シャロン・ファレル	Sharon Farrell キャシー
	デニス・ホッパー	Dennis Hopper ドン
	ドン・ゴードン	Don Gordon チェーリー